

町の未来について 行政懇談会

町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちがいきいき きらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに関する意見、要望などを直接住民の方から聞き、今後の町政に反映させることを目的に開催するものです。

※行政懇談会でいただいた意見の一部を、抜粋して掲載しています。

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356



テーマ「これからのまちづくり」

本荘北自治会

日時 1月11日(土)

午後5時30分～7時

開催場所 本荘北公民館

参加者 25人



◆自治 自治会でも街灯のLED化を考えているが、253灯あり安定器も変えると100万円くらいになる。町管理のものが終われば、自治会の街灯もしてもらえるのか

◆自治 水田川改修の進捗状況を教えていただきたい

◆行政 浜幹線から県道までは改修が完了しているが、上流部には新幹線と山陽電車が、車両を運転させながらの工事なので、それだけで約

7年かかると言われている。新幹線の下を上流で分水し2つに分ける水理実験を行い設計はしたが、用地買収の進捗が図れていない。県からは1月から暫定的に河床を下げる工事を実施すると聞いているので、浸水被害はいくらか緩和できる。町では雨水幹線の整備も併せて来年度から調査計画しており、遊歩道については両岸の整備を今年度で測量・調査し、来年度から整備計画を進める

◆自治 東播自動車教習所の測量を去年していたと思うが、それは用地買収の関係か

◆行政 一部東播自動車教習所の協力が得られるなら桜つつみを考えていたが、運転コースに支障がある場合は難しいとのこと、測量し設計段階で協議し植栽も考えたい

◆自治 空きびん回収ドラム缶の交換は26年度も計画しているのか

◆行政 自治会によつては今のまのほうがいいと言われるところもあり、希望によって交換しているので、25年度中

◆自治 平松公園のトイレが洋式にしてほしい

◆行政 公共施設は順次洋式を増やしている。ただ屋外にあるものは洋式はあまり好まれない。意見は今後の参考としたい

◆自治 洋式は費用も高くなるのか

◆行政 初期投資は少し高くなる。学校では子どもたちの意見も聞き洋式も増えているが、和式での経験も必要とのこと、両方設置している

◆自治 高齢者が増え、孤独死も増えている。行政はどこまで立ち入れるのか。木が生い茂って通れなくなったりしているが自治会ではどうにもできない

◆行政 もし木が敷地外に出て他人に迷惑をかけているようなら、すこやか環境グループに連絡してもらえれば所有者に管理するよう伝える。個人情報もあり、個人財産は強制執行できない。条例や県の方針も含め、近い内に具体的に対策を取りたいと思う

◆自治 平松公園のトイレが

◆行政 補助を検討しているが、全町的なものなので負担割合を慎重に考えたい

◆自治 鉄柱も古いので支柱も変えたほうがいいと言われている

◆行政 24年度から順次LED化を進めているが、維持管理費と電気代も下がるので、町も推進している。自治会のものも支援できないか検討しているが、対象はおそらく電灯のみになる

◆自治 高年齢者が増え、孤独死も増えている。行政はどこまで立ち入れるのか。木が生い茂って通れなくなったりしているが自治会ではどうにもできない

◆行政 もし木が敷地外に出て他人に迷惑をかけているようなら、すこやか環境グループに連絡してもらえれば所有者に管理するよう伝える。個人情報もあり、個人財産は強制執行できない。条例や県の方針も含め、近い内に具体的に対策を取りたいと思う

◆自治 平松公園のトイレが

◆自治 4月から消費税が増税されるが、もう一度プレミアム商品券を発行する計画はないのか

◆行政 現在のところ計画はない。前回、1億円分を発行し1千万円のプレミアムを付けたが、大きな店舗で利用されるのが多く、商業の活性化につながらなかったように聞いている。現在は住宅リフォーム助成をして町内業者の活性化を図っている

◆自治 神戸新聞の新春座談会で「娯楽性の高いものは増税分を転嫁していきたいが、それ以外は町の福祉や行政でカバーする」とあったが

◆行政 娯楽性の高いものとはフィッシュアリーナなどのこと。また、独立採算制である下水・水道事業も増税分を負担してもらうことになる。それ以外ではできるだけ住民に負担がないように、たとえば公

◆自治 4月から消費税が増税されるが、もう一度プレミアム商品券を発行する計画はないのか

◆行政 現在のところ計画はない。前回、1億円分を発行し1千万円のプレミアムを付けたが、大きな店舗で利用されるのが多く、商業の活性化につながらなかったように聞いている。現在は住宅リフォーム助成をして町内業者の活性化を図っている

◆自治 神戸新聞の新春座談会で「娯楽性の高いものは増税分を転嫁していきたいが、それ以外は町の福祉や行政でカバーする」とあったが

◆行政 娯楽性の高いものとはフィッシュアリーナなどのこと。また、独立採算制である下水・水道事業も増税分を負担してもらうことになる。それ以外ではできるだけ住民に負担がないように、たとえば公

民館などの使用料は据え置きにしたい

◆自治 ショセフ・ヒコに関して、プロジェクトチームなどを作って進めていくのか

◆行政 郷土資料館の事業として進めていく。成人式にはヒコの妻の子孫であるマツモトカズトさんにミニコンサート

トを開いてもらい、若い人もヒコの功績を知ってもらう機会になった。今里傳兵衛についても碑を大池の1カ所に集めて、いろんな方に顕彰してもらいたい

◆自治 浜幹線道路の完成後、バスの計画はあるのか

◆行政 コミバスはこのよう

な場で毎回出てくる関心の高いものであり、高齢化も確実に進んでいるので、公共交通のあり方について再度考えていきたい



◆自治 本人が自立できるような支援が必要。次第にフェードアウトしていかなければならない。また親の教育ができていないように思う。親が親として育つ場が不足している

◆町 行政が親の「育ち」にかかわっていくことは難しいが、そのような場があればいいですね

◆参 初期投資という考え方をしていたらいい。生涯にわたり生活保護を受けるなど、ひきこもりで働けない人がいる。3、4歳で社会性を身につければ改善されるのではないかと

◆町 支援学校の卒業式で立派に成長されている子どもたちの姿を見るたび、やはり教育の力だと感じているが、現在の幼児教育の現場での状況は

◆参 本人には社会に出たときに生かせるスキルや、生きていくために周りの支えや生涯

◆参 医師からは早く集団に入ったほうがいいと言われる。障がいのある関係なく、みんな同じように地域で育つことができるようにしたい。幼稚園や学校に通えば、周りの子どもへの育ちにも影響がある

◆町 周りの人も育つのはわかる。同じ教室にいておもう。いやいや理解につながる。

◆参 親との関係を築く大切な時でもあるので、福祉サービスに頼りすぎないよう、親も含めての話し合いやネットワークづくりも必要

◆町 親の意見もあるだろうが、本人にとっての幸せを一番に考えたい

◆参 本人には社会に出たときに生かせるスキルや、生きていくために周りの支えや生涯

町長と語るうたなぐら

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

参加団体 NPO法人アエノン



1月10日(金) 10:00～11:15
テーマ「これからのまちづくり」
参加者6人

◆参 精神に疾患のある人の医療と啓発、自立のための連携をすすめたいと思っている。

◆参 福祉サービスもありすぎ

◆参 障がいの有無にかかわらず育つ筋道はあり、3歳になると公園で遊んだり幼稚園に入ったりして友達ができ、集団での生活をするようになる。しかし入園拒否されてしまうことになる。障がいのある子は

◆参 障がいの有無にかかわらず育つ筋道はあり、3歳になると公園で遊んだり幼稚園に入ったりして友達ができ、集団での生活をするようになる。しかし入園拒否されてしまうことになる。障がいのある子は

◆参 障がいの有無にかかわらず育つ筋道はあり、3歳になると公園で遊んだり幼稚園に入ったりして友達ができ、集団での生活をするようになる。しかし入園拒否されてしまうことになる。障がいのある子は

関わる人をつないでいくようなサポートが、行政と民間で区切らずにできればと思う

参 特別支援学校で就職先の開拓をしているが、企業は前例がないことや支援の仕方がわからないこと、障がい者雇用に対する知識が不足しており難航している。障がい者は増えるのに雇用が増えず、町にも協力をしていただきたい

町 商工会にもチラシを渡し

参加団体
前結び着物着付け教室



1月17日(金) 13:30~14:40
テーマ「これからのまちづくり」
参加者18人

ではどうか。役場にもパンフレットを置く場所があり、ポスターも申請してもらえれば土山駅と播磨町駅に掲示できる。役場でも去年から精神障がいの方を有償の研修生として受け入れており、図書館も障がい者雇用をしている。今後、行政関係でも障がい者の雇用は進んでいくと思う

参 分別はどうなるのかが気になる

町 播磨町は分別が進んでいるが、広域では構成市町で統一するため協議をしていく。住民の皆さんへお願いなど何かあればその都度お知らせする

参 防災訓練での放送が聞き取りにくい。どのあたりに設置しているのか

町 南小学校や望海公園、浜田公園、役場などに22カ所、

新島に3カ所設置している。3〜4年前にデジタル化し、毎月1日の正午に防災行政無線で訓練放送をしている。戸や窓を閉め切っていたり、大雨でも降っていたらはっきり聞こえないので、住民の皆さんにも窓を開けて、聞く姿勢をとっていただきたい

参 風の向きや状況で聞こえたり聞こえなかったりする

町 毎日夕方に流れる音楽と同じなので、聞こえていたらエリアに入っている

参 音は聞こえるがはっきりは聞こえない

町 2カ所以上からの音が重複して聞き取りづらい場合があるかもしれない。いざというときは、繰り返し放送し、テレビなどで非常時の情報もあるの合わせて判断していただきたい。また自治会で自主防災組織を作っているので、近所での呼びかけもあると思う

参 学童は年度で申し込みをしている人しか利用できないが、夏休みや春休みだけ、急な用事の時に2〜3日だけでも利用できないか

町 家庭からの申し込みで大体の数を把握し調整している。

短期で受けるとなると、一時的に指導員の数を増やす必要があるが、現在でも余裕がない。その時期だけ人数を増やすのは難しいが、これまでも同様の意見があるので、検討していきたい

参 中央公民館で文化祭をしたとき、ステージの横から入るので町外の人からは不評。ステージ上でもたくさん並ぶと後ろの人が見えない。段々作ると言っていたが、将来的に何か考えているのか

町 毎年舞台周辺を改良してきた。舞台へ上がる階段の幅を広くし、外の仮設通路でも対応している。ステージを使う台も使えるように置いてある。照明なども含めて、手を入れられる箇所は少しずつ改良している

参 播磨町駅に比べ、土山駅は立派でいいと思う

町 播磨町駅舎は、去年、山陽電鉄がエレベーターを2基ホームに多目的トイレを設置した。26年度は町が駅舎の外にエレベーターを2基設置するので、南から北に水平移動ができるようになる。駅の南側は、バリアフリー化の仕事を進めていく。駅周辺が整備

町 このような話はよく聞くが、学校現場と外部の連携がうまくできるか。責任も伴うのでハードルは高いと思う。再度、教育長には伝えておく

参 中学校で武道教育が導入されたが、どうなっているのか

町 学校現場の方針などは教育委員会が決めるので、詳しくはわからない

参 柔道と違い、剣道は格や体力差に関係なく、骨折などの危険性もない。防具は学校で揃えればいいため、面と竹刀だけなら費用も安くおさえられる。ぜひ剣道を推薦してほしい

町 教育委員会に伝え、意見を交換する場を持つように提案する

参 大会の時だけでも体育館の使用料を無料にもらえるのか

町 子どもは半額にしており、指定管理者であるスポーツクラブもいろいろと配慮していると思う

参 去年、道路交通法の改正

されることで店舗なども増えればいいと思う。土山駅に隣接しては、南側の半分は病院を誘致し、残りの半分は土壌改良と並行して事業者を募集。商業施設や公共スペースを盛り込んだ計画を提案してもらい、夏ごろには決定した内容を住民の皆さんに報告できると思う。土山駅南も1〜2年で大きく変わると思う

参 高齢者がいる家からごみ集積所までの距離が遠い

町 自治会で集積所を新たに増やしてもらうこともできる。収集もするし、整備費も補助するが、周辺の理解がなければ難しい

参 高齢者対象のタクシー補助はないのか。知り合いの高齢者が病院に行くための足があれば、免許を返納すると言っている

町 5〜6年前にコミバスを提案したが議会で否決された。その後の方針に依り、路線バスの充実に努めてきたが十分ではないようなので、公共交通について来年度考えていきたい

参 バスがなくても停留所までの足が必要なので、タクシーのほがうれしい

町 歩道も場所によるので自転車通行の不可も一概には言えない。明姫幹線は歩道にカラー舗装をして区別しているが、土山新島線などは幅の関係から区別していない

参 情報が全くなないので回覧でもいいから明確に示してもらいたい

町 自転車の左側通行は厳しくなったが、歩道については道によって違う。標識を見て判断してもらいたい

参 住民票や印鑑証明の発行を土日できれば助かる。1〜2時間だけでもいい

町 住民票は平日に電話予約を取ることができる。郵送でもできる。住民グループに問い合わせてもらいたい

参 証明書自動交付機があればカードで簡単に発行できる

町 機械が高価なので、それだけのニーズと頻度があればいいが、播磨町規模では難しい。以前検討したこともあるが、将来的にはコンビニでの交付なども考えられる

参加団体
播磨町少年剣道クラブ



1月19日(日) 15:00~16:20
テーマ「これからのまちづくり」
参加者 4人

町 障がい者にはタクシーの補助をしているが、今後、高齢化率が上がる中、アンケート

ト調査をするなどして、改めて検討する場を設けたい

参 1階は四隅からしか風が入らず、真ん中まで届かない。冬はまたいいが夏は熱中症が心配。卓球やバドミントンなどは窓を開けると競技に影響が出る。送風機はあるが空気が暖かいので涼しくない。送風機に冷気を送れるようなものがあれば、安価で改善されると思う

参 夏に合宿をしているが施設の予約を取るのが難しく、料金が高いところを取るしかない。市内の団体を優遇しているところが多いので、播磨町にも優遇される施設があれば助かる。どこかと提携していい場所を確保できないか

町 朝来市の播磨ふれあいの家の近くにみのり館がある

参 体育館はあるのか

町 併設していないが市内にはある

参 施設から大人数での移動は難しい。場所も少し遠い。

参 体育館の空調をもう少し効くようにしてもらいたい。また、大会の時マイクを2本使うと反響する。雨漏りもしている。駐車場は広くて良い

町 スポーツ施設として建てているので音響はそれほどよくはない。雨漏りもこれまで何回も修理してきているが、音響については壁、床、天井の材料の関係で改善は難しい。マイクは何かいい方法がないか、管理者のスポーツクラブと協議したい。空調は中体育室でも高額の費用がかかり、その後の電気代も必要になる

参 施設から大人数での移動は難しい。場所も少し遠い。

播磨町消防団 女性分団



1月27日(月) 9:30~10:40
テーマ「安全・安心のまちづくり」
参加者14人

参 三木の防災センターで消防の研修があるときに託児サービスがないので、ファミリーサポートと一緒に会場に行けたらいい

町 ファミリーサポートは、個人で契約をしてそれぞれの家庭で預かることとなる

参 研修のときには数人が参加して数人が子どもを見てくれる。播磨町は男性消防団も協力的なので長く活動できている

町 託児のことは結成当初からの課題であるが、ファミリーサポートでの派遣は難しいと思うが、子育て世代の団員のために何か考えなければいけないと思う

参 女性団員を増やすには、子どもは切つて離せない問題

町 出初式でも子どもの声が聞こえ、以前の男性だけの消防団のときにはなかった光景があるように思う。発足当初からの皆さんは、いろんなことを克服してきているので感心している

参 男性消防団が受け入れてくれるのが大きい

参 年々、劇の依頼が減っている。初めのころは、次々と依頼があり月に2〜3回あったが、今は落ち着いてきた。いきいきサロンは平日だが、依頼は2カ月くらい前なのでスケジュールの調整はできる

町 広報に掲載するなど、PR活動をしてみてはどうか

参 広報紙に啓発劇のタイトルだけでも載ればいいと思う

町 土山駅南に商業施設と公共スペースを考えている。将来はそこで啓発劇などもできるのでは

参 働いている分団員も多くなった。健康福祉フェアでもPRしている

参 PR活動すれば幼稚園や小学校でできると思う。今は、駐車禁止、防火、たこ足配線などの劇をしている。これからは地震による津波の劇も考えている

町 災害は普段からの心構えが必要なので、劇などの手段も使ってしっかり啓発してほしい

参 役場は津波でも大丈夫なのか

町 今の想定では大丈夫な高さ。町南部の学校には、いざという時に校門の鍵を壊して入れる器具も設置している

参 どのくらいの住民が知っているのか

町 取り付けたのは1年以上前だが、どの程度認知されているかは不明

参 その時どこにいたかわからないので、知らない人でもわかるようにしておいた方がいい

町 いずれすべての学校に設置することを考えており、周辺地域に周知をするが、いたずらに使われる危険性があるのでよく考えたい

参 消火栓のホースでも子どももがいたずらに使用したりはないので、すぐわかるような

ものにしたらしい

町 消防団やコミセン、自治会長、自主防災組織には確実に周知させたい。震災の風化を防ぐためにも劇などで啓発することは大切

参 劇を楽しんで終わってしまつことが多い

町 見た後に内容のまとめを渡したらどうか

参 最後にまとめは言っているが、冊子などを持ち帰ればまた話をされるのでもいいと思う

町 女性分団専用車は持っているのと聞いたが、野添分団の倉庫が空いているとも聞いているので利用できるのでは

参 車はいらない。いきいきサロンのとき荷物を運ぶために自家用車を1台使用しているくらいで、ガソリン代も活動費で賄っている

参 野添分団の倉庫を利用してきたとしても、そこまでの移動手段が難しい。荷物の置き場所もない。今は播磨分団の会議室を使っている。車で行けば乗合で行けるし、劇の練習もできる

町 団員数と平均年齢はどのくらいか

参 名簿上は20人だが、実際

によく活動しているのは8〜10人。平均は40歳前後だと思う。30代が減り、新しい世代が入ってこない

町 世代交代は大切。どの組織も同じだろうが、一度に辞められると今まで積み上げてきた知識を持つ人間がいなくなる。定年はないのか

参 定年はないが、何歳以上というのはある。自分たちができる範囲で活動している

町 若い人は操法で、年輩の方は劇をするなど各年代での役割分担もできる。年齢の幅を広げる意味でも、少しずつ次の世代を確保していつてもらったほうがいいのでは

参 興味を持ってもらうことが難しいとは思いますが、努力したい

消防団員 募集中

大切なまちや家族を

守りたい
想いは一つ。



消防団員のやりがいは、地域に暮らす自分自身が、地域のために働き、身近な人の役に立てること。そして、年齢も職業も様々な仲間と出会い、人としても大きく成長していけることにあります。播磨町の消防団員は、現在358人(内女性団員20人)で、火災発生時の消火活動、地震や風水害の災害発生時の救助・救出活動などに従事し、地域住民の生命・財産を守るために活躍しています。また、災害発生時だけでなく、平常時においても訓練・防災・防火に対する啓発活動を行い、防災力の向上に貢献しています。

播磨町消防団では、このような地域安全の「縁の下力持ち」としての消防団員を募集しています。年齢が18歳以上50歳未満で、町内に居住している方であれば入団できます。あなたも一緒にかけがえのないものを守りませんか。女性団員も募集しています。

▼問合せ
危機管理グループ
☎079(435)0991



年金

平成26年度の国民年金保険料と前納割引制度

▼問合せ

保険年金グループ ☎079(435)2581
加古川年金事務所 ☎079(427)4743

平成26年度定額保険料は月額1万5千250円

国民年金の保険料は毎年度改定されますが、平成26年度の定額保険料は前年度より210円引き上げられた月額1万5千250円です。

▼保険料の納付方法

国民年金の毎月保険料は、日本年金機構から4月の下旬に送られてくる1年分の「納付書」によって翌月の末日までに納めます。なお、保険料は原則2年を過ぎると納められなくなりしますのでご注意ください。

納付できる窓口は、金融機関(ゆうちょ銀行を含む)またはコンビニエンスストアとなっています。また、口座振替やクレジットカード納付も利用できます(申し込みが必要です)。

▼現金納付による前納割引

国民年金には、一定期間(1年または6カ月など)定められ

た期間などの保険料を前納すると割引になります。(左表参照)

- ◎1年度分の保険料を現金で毎月納付
1年度分保険料15,250円×12月 = 183,000円
- ◎1年度分の保険料を現金で前納(1年度分で3,250円の割引)
1年度分保険料183,000円 - 3,250円 = 179,750円
- ◎6カ月分の保険料を現金で前納(6カ月分で740円の割引)
1年度分保険料91,500円 - 740円×2回 = 181,520円

現金による保険料の1年前納および6カ月前納(4月〜9月分)の納付期日は、4月30日です。6カ月前納(10月〜3月分)の納付期日は、10月31日です。保険料の前納は、原則として、1年または6カ月を単位として行うものとされていますが、現金払いの前納の場合

には、任意の月からその年度末までの保険料を前納することもできます。なお、保険料の一部免除を受けている人も、一部納付の保険料を前納することができ、この場合は1年分、6カ月分、任意の月分から免除承認期間または年度末までの分を前納することになります。

▼口座振替による前納

口座振替による保険料の前納には、1年または6カ月を単位として行うものと新たに2年前納制度が新設されました。(下表参照)

口座振替による保険料の前納のうち1年前納、2年前納および6カ月前納(4月〜9月分)の申し込みの締切日は2月末日までとなっています。また、6カ月前納(10月〜3月分)の申し込みの締切日は8月末日までとなっています。

▼口座振替による早割

保険料の前納には、一定期間を前納のほかに、口座振替の早割があります。

- ◎口座振替で1年分の保険料を前納すると、年間で3,840円の割引となります
1年度分保険料183,000円 - 3,840円 = 179,160円
- ◎口座振替で6カ月分の保険料を前納すると6カ月分で1,040円の割引となります
1年度分保険料(91,500円 - 1,040円) × 2回 = 180,920円
- ◎口座振替で2年分の保険料を前納すると、2年間で14,800円の割引となります
2年度分保険料 355,280円

通常の口座振替の場合には、毎月の保険料は翌月末に引き落としとなりますが、口座振替の早割の場合には、毎月の保険料が納付期限より1カ月早く口座振替されます。

口座振替の早割では、月額で50円の割引となります。

口座振替の早割の申し込みは、随時受け付けています。

▼申込窓口 口座振替を希望する金融機関窓口、加古川年金事務所、保険年金グループ

▼必要な物 年金手帳または納付書(基礎年金番号の確認できるもの)、通帳、金融機関へのお届け印